

# 第46期中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

# 46 INTERIM REPORT

Good luck. Good life.

**SANKYO**

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。第46期中間報告書をお届けするにあたり、ここにご挨拶を申し上げます。

現在、パチンコ・パチスロ業界を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。ファン人口が減少から増加へ転ずるなど好材料が窺える反面、社会構造の変化に伴い急速に普及したインターネット・モバイルゲームに代表される、場所を選ばない手軽なレジャーとの競争にも直面しております。当社グループではこのような状況に対処するため、商品力の強化として平成22年4月に新設した「商品戦略室」を中心に、今まで以上にファンの目線に立った商品企画・開発を進めております。また、従来の「いいモノをつくる」というメーカーの基本的発想にとどまらず、ネットマーケティングなどを活用し、パーラーやファンとの双方向コミュニケーションを図りながら、新たなパチンコエンターテインメントの創造に努め、業界の発展とともに企業価値の向上を目指します。

平成22年はパチンコ業界の標準となった「フィーバー」誕生から30周年にあたります。当社グループは健全なレジャーの発展と心豊かな社会への貢献を基本理念とし、現在まで着実な発展を続けてまいりました。業界に確固たる地位を確立することができたのも、株主の皆さまをはじめとする全てのステークホルダーの皆さまに支えられ、良好な関係を築くことができたおかげであります。これから新たに始まる30年も皆さまからの信頼をより高め、業界においてトップランナーとして走り続け、企業の永続的発展に取り組んでまいります。

株主の皆さまへの利益還元につきましては、収益拡大による企業価値の向上とともに経営上の最重要課題の一つとして認識しております。当期におきましては基本方針である安定配当に加え、平成22年6月より上限を150億円・300万株とする自己株式の取得を実施しております。今後も機動的・柔軟な資本政策による利益還元の拡充を図ってまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長

毒島 秀行

代表取締役社長

澤井 明彦



代表取締役会長 (CEO)  
毒島 秀行



代表取締役社長 (COO)  
澤井 明彦

## Contents

- 株主の皆さまへ……………1P
- 営業概況……………2P
- 四半期連結財務諸表……………4P
- トピックス……………5P
- 会社情報……………6P

当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)における  
当社グループの営業概況についてご報告いたします。

当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)におけるわが国経済は、国内の政策効果や海外景気の改善などを背景に自律的な回復への兆しが見られました。しかしながら、急激な円高による企業収益の圧迫や厳しい雇用環境などにより景気は足踏み状態となっており、依然厳しい状況が続いております。

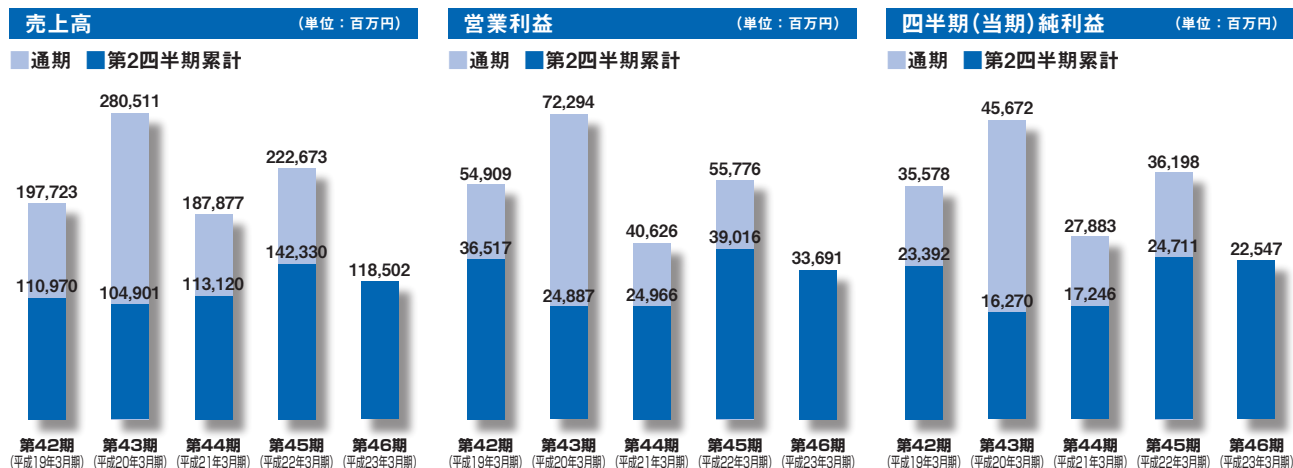
当パチンコ・パチスロ業界におきましては、1円パチンコに代表される低貸玉営業の普及やパチスロ人気の持ち直しなどにより、減少を続けていたファン人口には回復の兆しが見られます。しかしながら、景気低迷や収入減少などにより節約志向が強まる中で、当パチンコ業界におきましてもプレイ費用を抑えようとする傾向が見られ、パールの経営環境は厳しい状況が続いております。そのため、パールにおける主要な集客手段である遊技機の入替につきましても、確実な収益貢献が期待できる人気定番シリーズやブランド力の高い有力メーカーの商品へ需要が集中する傾向にあります。

当社グループにおきましては、平成22年4月に新設した「商品戦略室」を中心に、ファンに支持されるエンターテインメント性の高い遊技機開発に取り組み、商品競争力の再強化を図ることで企業ブランドの向上に努めております。また、多様なニーズに対応する商品ラインナップを提供するとともに新たにリユースへの取り組みを発表し、柔軟な価格政策を実施することでパチンコ業界全体の活性化にも努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、厳しい経営環境を背景に保守的に業績予想を見積もっておりましたが、当社グループの遊技機の販売が順調に推移し、当初の予想を上回る結果となりました。

以上から、連結売上高1,185億円(前年同四半期比16.7%減)、連結営業利益336億円(同13.6%減)、連結経常利益362億円(同11.9%減)、連結四半期純利益225億円(同8.8%減)となりました。

決算ハイライト(連結) Consolidated Financial Highlights



(注) 第44期から金融商品取引法に基づく四半期報告制度の導入により、便宜上第43期までの「中間」の表記を「第2四半期累計」に変更しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ●パチンコ機関連事業

パチンコ機関連事業につきましては、SANKYOブランドで4シリーズ、Bistyブランドで2シリーズの販売を行いました。SANKYOブランドにおきましては、人気ロックバンドとのコラボレーションを実現した「フィーバーX JAPAN」(平成22年9月)、ドット演出とスピード感あるゲーム性が特徴の「バトラッシュ3」(平成22年7月)などを販売いたしました。また、Bistyブランドにおきましては、「エヴァンゲリオン」シリーズの第6弾「エヴァンゲリオン～始まりの福音～」(平成22年6月)が前作に続き20万台以上の販売を達成するなど当初の予想を上回る販売となりました。

この結果、売上高1,050億円(前年同四半期比17.3%減)、営業利益347億円(同17.2%減)、販売台数294千台となりました。

## ●パチスロ機関連事業

パチスロ機関連事業につきましては、多様なゲーム性を有した遊技機が登場したことでファンからの支持が回復しており、また設置台数

の減少にも底打ち感が見られるなど市場に回復の兆しが見られます。当社グループにおきましては、SANKYOブランドの「ゴッドハンター」(平成22年6月)、Bistyブランドの「新世紀エヴァンゲリオン～魂の軌跡～」(平成22年2月)、「アペノ橋魔法☆商店街」(平成22年8月)を販売し、売上高42億円(前年同四半期比30.1%増)、営業利益64百万円、販売台数16千台となりました。

## ●補給機器関連事業

補給機器関連事業につきましては、売上高83億円(前年同四半期比26.2%減)、営業利益7億円(同151.2%増)となりました。

## ●その他

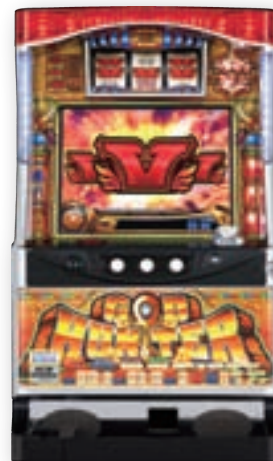
その他につきましては、売上高8億円(前年同四半期比29.0%増)、営業利益2億円(同19.8%増)となりました。



フィーバー X JAPAN  
©JMA



エヴァンゲリオン～始まりの福音～  
©カラー



ゴッドハンター

## 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日現在)	前連結会計年度末 (平成22年3月31日現在)
<b>●資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>359,380</b>	<b>326,608</b>
現金及び預金	171,303	143,416
受取手形及び売掛金	55,049	49,868
有価証券	114,999	115,004
商品及び製品	1,110	36
仕掛品	1,056	244
原材料及び貯蔵品	1,730	3,020
その他	14,182	15,092
貸倒引当金	△51	△75
<b>固定資産</b>	<b>135,632</b>	<b>134,750</b>
有形固定資産	50,153	51,055
無形固定資産	319	310
投資その他の資産	85,160	83,384
投資有価証券	78,446	77,373
その他	7,302	6,739
貸倒引当金	△208	△349
投資損失引当金	△379	△379
<b>資産合計</b>	<b>495,013</b>	<b>461,358</b>
<b>●負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>70,705</b>	<b>48,025</b>
支払手形及び買掛金	46,169	30,182
未払法人税等	14,251	7,259
賞与引当金	1,022	817
その他	9,262	9,766
<b>固定負債</b>	<b>5,520</b>	<b>5,309</b>
役員退職慰労引当金	655	623
退職給付引当金	3,107	2,933
資産除去債務	59	-
その他	1,698	1,752
<b>負債合計</b>	<b>76,226</b>	<b>53,334</b>
<b>●純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>418,422</b>	<b>407,280</b>
資本金	14,840	14,840
資本剰余金	23,880	23,880
利益剰余金	392,842	377,529
自己株式	△13,140	△8,969
<b>評価・換算差額等</b>	<b>363</b>	<b>744</b>
その他有価証券評価差額金	363	744
<b>純資産合計</b>	<b>418,786</b>	<b>408,024</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>495,013</b>	<b>461,358</b>

## 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
売上高	118,502	142,330
売上原価	56,305	73,691
売上総利益	62,197	68,639
販売費及び一般管理費	28,505	29,622
営業利益	33,691	39,016
営業外収益	2,535	2,087
営業外費用	10	17
経常利益	36,217	41,086
特別利益	29	110
特別損失	56	357
税金等調整前四半期純利益	36,189	40,839
法人税、住民税及び事業税	14,527	11,205
法人税等調整額	△885	4,922
法人税等合計	13,641	16,127
少数株主損益調整前四半期純利益	22,547	-
四半期純利益	22,547	24,711

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,057	18,039
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,737	△11,861
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,432	△7,277
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	27,887	△1,099
現金及び現金同等物の期首残高	218,416	218,509
現金及び現金同等物の四半期末残高	246,303	217,409

Fever 30th  
&  
新TVCM

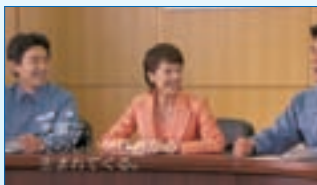
## 「フィーバー」は今年で誕生30周年を迎えます。



当社が1980年に発表した超特電「フィーバー」は今年で誕生30周年を迎えます。全国に一大センセーションを巻き起こした「フィーバー」の発表以降、当社はパチンコ業界のトップリーダーとしてその地位を揺るぎないものとしてきました。

また、当社グループではテレビCMを実施することで「パチンコで、いい笑顔。」をモットーに、企業認知度の向上と健全な娯楽としてのパチンコ業界のイメージ向上を図っています。「フィーバー」30周年の記念の年となる今期におきましては、中期経営計画の第一段階であるブランド力の回復とパチンコ業界の未来に向け、女優の沢口靖子さんをイメージキャラクターとした新しい企業CMを放映しています。

「いい笑顔」をすること、その思いをメッセージに込めSANKYOはこれからも情熱を込めたチャレンジを続けます。



TVCM



HP  
リニューアル

## 当社ホームページの 大幅なリニューアルを実施しました。

当社ホームページの大幅なリニューアルを実施しました。より見やすく使いやすい内容に改良し、またファンの方々向けに新コンテンツを追加するなど内容の充実も図っています。IRページにおきましても財務データのグラフ化や過去の開示資料ダウンロード、決算説明会資料などを充実させることで一層のディスクロージャー強化に努めています。

今後も、より多くの方々にご利用いただけるホームページとするため、一層の内容充実に取り組んでいきます。



トップページ



IR情報

<http://www.sankyo-fever.co.jp/>

SANKYO

検索

●会社概要

- 商号 株式会社 SANKYO  
(登記社名 株式会社 三 共)
- 本社 東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号
- 設立 昭和41年4月
- 資本金 148億4千万円
- 従業員数 949名
- 主要な事業内容 遊技機の製造及び販売  
自動補給装置等の設計施工及び販売
- 連結子会社 株式会社三共エクセル  
株式会社ビスティ  
株式会社三共クリエイト  
インターナショナル・カード・システム株式会社
- 持分法適用会社 日本ゲームカード株式会社  
フィールズ株式会社

●役員

- |   |       |
|---|-------|
| 名誉会長  | 毒島邦雄  |
| 代表取締役会長 CEO                                   | 毒島秀行  |
| 代表取締役社長 COO                                   | 澤井明彦  |
| 取締役副社長執行役員 営業本部、商品本部管掌                        | 濱口順三  |
| 取締役副社長執行役員 管理本部、製造本部、知的財産本部、経営企画部管掌 兼 知的財産本部長 | 筒井公久  |
| 常勤監査役   | 鶴川詔八  |
| 監査役   | 石山俊明  |
| 社外監査役   | 真田芳郎  |
| 社外監査役   | 野田典義  |
| 常務執行役員 営業本部長                                  | 鈴木康司  |
| 常務執行役員 管理本部長 兼 総務部長                           | 石原明彦  |
| 執行役員 製造本部長                                    | 瀧本淳子  |
| 執行役員 商品本部長                                    | 瀬瀬一聡  |
| 執行役員 営業本部副本部長                                 | 富山一郎  |
| 執行役員 営業本部 パーラー事業部長                            | 吉川実   |
| 執行役員 営業本部 本店営業部統括部長                           | 小田部利得 |
| 執行役員 管理本部 情報システム部長                            | 古平博隆  |
| 執行役員 商品本部副本部長                                 | 福田隆   |

●株式の状況

発行可能株式総数	144,000,000株
発行済株式総数	97,597,500株
単元株式数	100株
株主数	13,472名
総株主の議決権数	951,689個

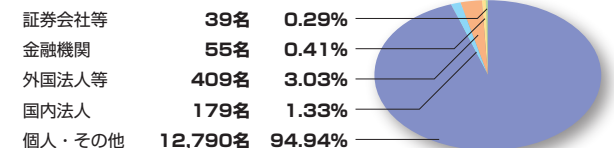
●大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
有限会社マーフコーポレーション	15,050	15.42
有限会社群馬創工	14,196	14.54
毒島邦雄	7,089	7.26
毒島秀行	3,067	3.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,719	2.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,615	2.67
ステートストリートバンク アンド トラストカンパニー	2,561	2.62
赤石典子	2,533	2.59
毒島章子	2,533	2.59
株式会社SANKYO	2,124	2.17

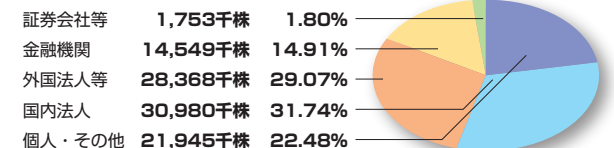
(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 出資比率は平成22年9月30日現在の発行済株式総数に対する比率であり、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

●株式分布状況

株主数構成比



所有者別株式分布



## 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	
定時株主総会 期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所 (郵便物送付先) (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次窓口	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.sankyo-fever.co.jp/koukoku.html">http://www.sankyo-fever.co.jp/koukoku.html</a> なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行うものとします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

### 配当金の受取方法について

株券の電子化に伴い、配当金をお受取りになる方法として、株主さまが保有する全ての銘柄の配当金を同一の預金口座で受領することができる「登録配当金受領口座方式」、株主さまが口座をお持ちの証券会社等を通じて配当金のお受取りができる「株式数比例配分方式※」をご選択いただけるようになりました。(従来どおり、「配当金領収証」「個別銘柄指定方式」でお受取りいただくこともできます。)

現在「配当金領収証」での受取りを選択されている株主さまにつきましては、确实、迅速に配当金をお受取りいただくためにも、口座振込でのお受取りをお勧めいたします。

受取方法変更の手続きにつきましてはお取引の証券会社へお問い合わせください。特別口座で株式を保有されている株主さまにつきましては特別口座の口座管理機関(中央三井信託銀行株式会社)へお問い合わせください。

※特別口座に記録された株式をご所有の株主さま、または、口座を開設している証券会社が「株式数比例配分方式」を取り扱っていない場合は配当金の受取方法として「株式数比例配分方式」はお選びいただけません。

### 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主さまにつきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、本年より配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主さまは大切に保管ください。



本報告書は、環境保全のため、  
植物油インクで印刷しています。

## 株式会社 SANKYO

本 社：東京都渋谷区渋谷三丁目29番14号 TEL. (03) 5778-7777 (代表)

<http://www.sankyo-fever.co.jp/>

証券コード：6417